

意見交換会実施報告書（各種団体）

【4班】

【 会 場 】

開 催 団 体	川内青年会議所	参加人員	17人			
開 催 日 時	平成28年5月31日（火）19：00～21：30					
開 催 場 所	ホテルオートリ					
出 席 議 員 （ 担 当 ）	議 員 名	出欠	担 当	議 員 名	出欠	担 当
	宮里 兼実	○		新原 春二	○	
	下園 政喜	○		谷津 由尚	○	記録・報告書作成
	川畑 善照	×				
	大田黒 博	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

テーマ；青年会議所の現状の活動状況、課題等について

川内青年会議所 田島理事長：

いろいろな意見交換会に参加してきたが、共通して言えることは、どちらかと言うと行政に対する要求等が多くを占めているように感じられる。川内青年会議所としては、行政との関係は着き過ぎず離れ過ぎず、今の関係が維持できればと考えている。

直接、今回の様な市議との協議の場は今までなかったので、今日は話を聞いてほしい。

《川内青年会議所の現状説明》

各委員長からの説明

総務渉外委員会：川畑氏

組織内の運営活性化と外での活動補佐を主な業務としている。

青少年委員会：小倉氏

青少年の育成事業は、これまで毎年欠かさずやってきている。本年度のテーマはおもいやり。おもいやりキャンプイン屋久島を計画中。キャンプの内容は、トレッキング、キャンプファイヤー、海水浴等。定員30名。

広報委員会：中池氏

本年1年間の活動の記録を残し、伝えること。市民の方々へ我々の活動をしていただくこと。正確に内容をお伝えすることである。

まちづくり委員会：池上氏

創立45周年記念式典の実行委員長として活動している。歴史を振り返る時、先輩方の歴史を紐解いた。サンドームせんだいで記念祝賀会を開催した。お祭り風の祝賀会を実施したが、皆様から意見をいただき、実施して良かったと感じている。記念式典の経験を生かしたい。

こころざし継承委員会：迫氏

ひとづくりをする委員会。研修や啓発をメインとする。18歳選挙へ向けた若年層への啓発を、今後のテーマとしたい。手探りであるが、今後少しずつ形を作って行きたい。将来のまちづくりは自分たちでつくるという意識をつくっていきたい。

よかこ活性委員会：中野氏

新年祝賀会を開催した。また、11月に宮里公園で薩摩川内よかこ祭りを計画している。他の青年団体も含めて新しい取り組みをやっていききたい。入来や祁答院にはまだまだ認知されていないいいものがたくさんある。これらのものを取り入れて、活性化していきたい。

・補足

青年会議所の事業については、理事会を通したものしか、先に進んでいかないため、まだまだ計画段階は多数ある。声に出せないものがある。今後の計画に、更なる反映もさせたい。

《意見交換の内容》（凡例；◆川内青年会議所の意見 ◇議員の意見）

- ◇ 青少年委員会のおもいやりキャンプについて、薩摩川内は甕島がある。他の市外の人に声掛けをして、甕島でキャンプをしていただければと思う。甕島には行政として多額の予算をつぎ込んでいる。何とかこの島を宝にしたいと考えている。甕島には高校がない。日本全国から人を呼び寄せるような高校をつくらせたい。そうすれば、甕島も人口も増える。
- ◆ 昨年は甕島でキャンプを実施した。大変に好評だった。（さつま町の子どもたちも含めて）。川内、さつま町の子どもたちを富士山等に連れて行った経緯がある。世界自然遺産を見に行くことで良い勉強となっている。今回は自然遺産である屋久島に行くことで、大変な財産になると思っている。
- ◇ 18歳の選挙活動について、投票率の向上につながるような活動をしていただければ、大変ありがたいと思う。
- ◆ 18歳選挙に対しては、初めてのことで、どのようにしていけばいいのかを考えているところである。18歳以下の若い子どもたちを含め、政治へのかかわりについて、将来のために啓発活動に取り組んでいきたい。そして、社会を良い形に持っていくという考えにつながって、引き継いでいければと思っている。
- ◆ 実際に発表できるところで動いているので、楽しみにしてほしい。
- ◇ 祁答院で30数年前に村おこしをはじめた。商工会の立ち上げから、「うめんこ村」として活動していた。いろいろな活動は地域においていかなければならない。どの委員会かはわからないが、村おこしで過去関係した人は集まってくるはずである。これをやっていただければありがたいと思う。結果として薩摩川内の活性化を図れるのではないかと思っている。そして皆様のやる気をあと一步前に進められる力になるだろう。
- ◆ 周辺地域に関しては感心を持っている。今、理事長をさせていただいているところに意義があると思っている。旧川内市との垣根が取れてきているのは事実である。我々がしこりを残さないためにも、今後の交流も、地域を巻き込んで、川内に偏らない活動をしていきたい。

◇ 昔は各地区に青年団が存在した。現在では、これはなく青年会議所が唯一の全国の組織ではないかと思われる。今後も是非青年のリーダーシップを取ってほしい。また、薩摩川内市はいろいろな審議会を持っている。この中に積極的に入り込んで、若い方の意見を積極的に発信して欲しい。川内駅東側の施設に関しても、若い方が思う形でなければならない。大小路側の河川敷、そして中郷側の河川敷についても、今後有効な活用策をまとめることになる。

これらにも若手が入り込んでいただき、ワークショップで検討をして行ってほしいと思う。是非、ここに青年会議所の力を発揮して欲しい。

◆ 難しい課題と思うが、青年会議所の役割は、地域のために何かをやることにある。若い人たちが、地域のために自分があるということを感じる、100年後どうありたいかを考え実行するのが青年会議所である。この経験は個々でなければ味わうことはできない。ここで、要望したい。我々が取り組んでいる事業で、案内をさせていただきたい。そこから出た声を、青年会議所や行政に伝えてほしいと思っている。

◇ 旧川内市の一番外れの町出身で、このような場が懐かしい。今がチャンスであると思う。田舎のメンバーをこの機会に引っ張り出していただき、機会を与えてほしい。聞いて帰って伝えていきたい。